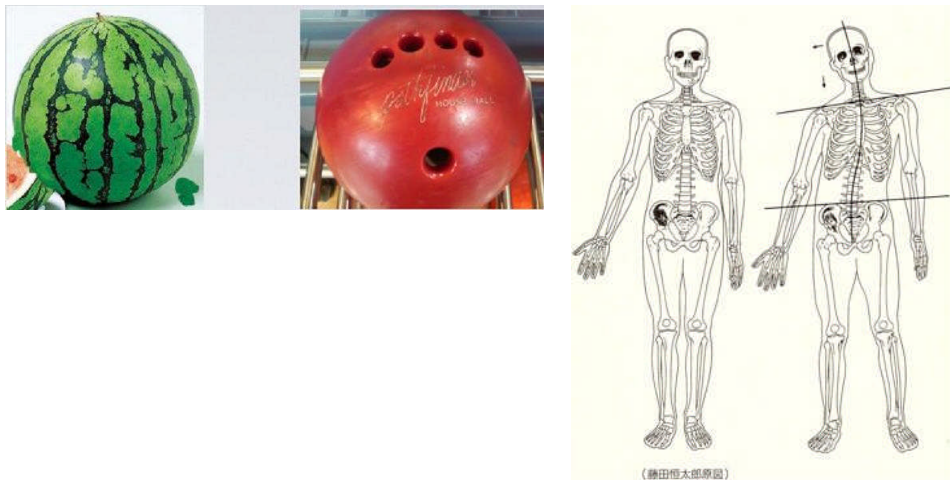


# 噛み合わせの調整と体の変化

歯の噛む力は50キロ近くありそれぞれの歯が支え合っています。一本歯を削ればそれまでその歯に加わっていた力が他の歯に移動し歯と体のバランスが変わり、歯がしみたり、頭痛や肩こりその他が起こる事もあります。



また頭の重さはスイカやボーリングの玉程あり、背骨の上で微妙なバランスを取っています。歯を削ったり、被せたりと言う歯科治療に依り、噛み合わせがズレ、体が歪みます。そのままにして置くと歪みは更に更に増し、歯や体に様々な問題を起こします。



自然歯科ではその歪みを取るような調整をします。噛み合わせの不調和により50キロ近くの力で歪みを起こす原因を調整すると、山の斜面にある一人では動かさない大きな岩を押して動く弾みを付けてやると、岩がズルズル動き出すように、顎の位置も歯の当たりも変わり、東洋医学でよく言われる好転反応と言われる現象が起きる事もあります。

噛み合わせは刻々と変化します。どんなに噛み合わせに問題が有っても食べ過ぎる頻度と力が少なければ問題を起こしません。歯の噛む力は50キロ近く有りますので噛み合わせの不調和があると歯にも体にも様々な問題を起こします。また人間は1日に15分位しか噛み締めていないことが生理学で判っていますが忙しさ、心配、不安等で食べ縛っても問題を起こします。新しい噛み合わせに馴染むまで出来るだけ軟らかいもの、あまり噛まなくて済むものを食べ、心配不安を手放し、あれこれ余計な事をせず、仕事で自分を見失わないようにして、心にゆとりを持って無意識で歯を食いしばらない様にして何事にも捕らわれず、歯と体、心を休め、筋肉を休め、ゆったり、のんびりと過ごす様にすれば歯が動いて、磨り減って、筋肉が馴染んで問題を起こす事もなく、新しい噛み合わせに体が馴染んでいきます。歯科医療は自然の体の変化に対し速いスピードで変化を与えますので自然歯科はいつも必要最小限の処置をさせて頂いておりますが、それでも体の変化について行けない時、予想に反した変化が起きた時には、当方はその時その時の体の変化に応じた対応、処置をさせて頂きます。何かありましたら一人で悩まず遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。